

轟 と ど ろ

平成20年9月30日

9月号

始業式で一人ずつ抱負を発表

2学期は、実りの秋を迎えます。勉強そしてスポーツにとっても大切な時期となることから、始業式でその心構えについて一人ひとりに抱負を発表してもらいました。他校では代表のみとなりますが本校では小規模校の利点を生かして全員が発表します。



八農泉分校の協力によるカヌー体験

3日(水)には、子どもたちが大変楽しみにしていたカヌー体験学習を昨年に引き続き本校のプールで実施しました。当日は、八代農業高校泉分校の田中先生のほかカヌー部の生徒3名に協力してもらい、基本操作の説明そして実際に乗船体験を行いました。高校生はプールに入って優しく指導したり、ちょっぴりイタズラをしたりして子どもたちを楽しませてくれました。



山々に響け子どもたちの歌

本校の子どもたちの課題解決をねらって朝一番から全校児童による朝の歌に取り組んでいます。放送委員による校内放送による呼びかけにより、全員が集まって元気の出る歌が校内に響きます。その効果も出ています。歌に始まり歌に終わる子供の声が山々に響き渡るそんな学校でありたいと考えています。



校長コラム

近頃、家庭内での殺人事件が頻繁に報道されている。何と悲しい時代になったかと嘆くこともしばしば。親も子も本音で相談できる友だちも家族もない状況の中で独り悩み、苦しんでいる状況が広がっている。携帯電話が世に溢れ便利さの反面、人間にとって一番大切な顔と顔を突き合わせた会話による心のなごみ・いやしが無くなっていると感じる。そのため人の視線や態度が気になり出し、人の欠点ばかりが目につく。お互いの関わり合いが減ったことで自分自身もマイナス思考になりやすく独り悩む。運命的に家族として生まれ、一つ屋根の下で暮らしながら家族が何を考えているのかが見えない。学校では、クラスで心配ごとが起きると、すぐに関係の子供一人一人の話をいっぱい聞き取り、その日のうちに家庭訪問をするよう担任に勧めている。目と目、膝と膝を合わせて直接に会話することの重要性をしっかりと認識して、今以上に家庭で職場で私たち大人・親から直接会話に心がける姿勢と努力が必要ではないか。

本校のホームページを開設

9月24日に本校のホームページを開設しました。3年間休止状態でしたが、今回全く新しい内容で皆さまに情報を提供いたします。近々、ヤフーやグーグルにも掲載される予定です。一足早くご覧になりたい方は <http://e.yatsushiro.jp/es-izumi8/> にアクセスしてみてください。



運動会が、大盛況で終了

21日(日)に保育園・小学校・校区民の合同運動会を開催しました。午前の途中までは順調に進んだものの、雨が降り出し体育館へ移動しての演技となりました。しかし、子どもたちの熱意は冷めず、一つ一つの感動が伝わったと思います。園児の愛らしさ、校区民のユニークさが全面に出て大盛況でした。

今年は、熊本大学教育学部の中川教授を初め同大の陸上部3名そして本校区の子供たちも特別参加していただき、とても華やいだ運動会となりました。中川教授は来年度の参加も約束され、地域との繋がりのある取り組みに積極的に協力いただけるそうで、夜を徹して語り合いたいとのことでした。嬉しいかぎりです。来年の運動会が待ち遠しく感じます。

